



夢に向かって

バリアフリーな心を目指して——

さいとう あおい
齋藤 葵 さん (県北中3年)

第49回

私の将来の夢は、支援学校の先生になることです。きっかけは、障害のある双子の妹です。妹は支援学校に通っていて、家では両親が協力して支えている姿を見てきました。その様子を見て、私も誰かの役に立てる人になりたいと思うようになりました。

私たちがふだん何気なく過ごしている生活の中にも、困っている人はたくさんいると思います。例えば、公共施設の入口に少し段差があるだけでも、車いすの人にとっては大きな壁になります。スロープがあれば安心して使えますが、それがないと外に出ることをためらってしまうこともあります。また、通路がせまいと動きにく

くなってしまいます。さらに、目が見えにくい人にとっては点字ブロックや音声案内があると安心できますし、耳が聞こえにくい人にとっては文字や表示がとても大切です。このように、ちょっとした工夫や気づかいで、みんなが過ごしやすくなるのだと感じています。

私は、一人ひとりの違いを大切にしながら、その人が安心して生活できるように支えていきたいです。支援は特別なことではなく、相手の立場で考えることから始まると思います。

学校では社会科が好きで、物事のしくみを考えることが楽しいです。英語は苦手ですが、あきらめずに頑張っています。また、日ごろからストレッチも続けていて、体を動かすことも大切にしています。

美術部では、色の組み合わせで見え方が変わることを学び、いろいろな見方があることを知りました。

私は外国の文化にも興味があります。韓国ドラマをきっかけに韓国語を勉強していて、違う文化にふれることの楽しさを知りました。将来は韓国やヨーロッパに行って、いろいろな人と話してみたいです。

人前に立つと緊張してしまうこともありますが、「自然体でいること」を大切に、これからも人に寄りそいながら、みんなが安心して過ごせる社会づくりに少しでも関わられるように頑張っていきたいです。



のびのび まだまだ

国見町



編集発行 国見町



〒969-1792 福島県伊達郡国見町大字藤田字一丁田二1-7

TEL 024-585-2111 FAX 024-585-2181

E-mail somu@town.kunimi.fukushima.jp URL www.town.kunimi.fukushima.jp/